

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	利用者の生きがい作りへ結びつく思いやりや意向を引き出せるよう努めることが必要。	日々の生活の中で役割を持つなど生きがいのある生活ができるようにする。	日々の関わりの中、できること・できないことを見極め、できないことはどのように支援行えばできるようになるのかなどアセスメントにより把握し、できることは役割として行って頂くなど充実した生活の実現に向けたプランに反映させる。	12ヶ月
2	2(2)	中学生の職場体験の受け入れをする。	中学生の職場体験の受け入れなど交流の機会を持つ。	中学校の職場体験の取り組みについて中学校へ働きかけを行う。	6ヶ月
3	4(3)	運営推進会議を行事の時に開催し参加者に日常の利用者の様子、行事や職員のケアを見てもらいホームをよりよく知ってもらうこともよい。	運営推進会議を行事の時に開催し、日常の利用者の様子を知ってもらう機会を持つ。	運営推進会議の開催を行事の合わせ、行事に参加していただく機会を持ち、グループホームで生活されている利用者の様子を直接確認していただく。	6ヶ月
4	20 (8)	外出しづらい方等は、昔の写真や映像を見て頂き、回想法を利用することも必要。	回想法を利用し昔のことを思い出ず機会を持つ。	外出困難な利用者様に対し昔の写真・映像等を見て頂き、昔の話題で思い出を引き出したり、ご本人様のアルバムなどを見ながらその頃の思い出話をするなど話題づくりを行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。